

日本貨物航空株式会社 行動計画（第2回）

当社は社員が仕事と子育てを両立させることができ、全ての社員がその能力を十分に発揮できるよう働きやすい職場環境を作るとともに、次世代育成支援対策を通して地域および広く社会に貢献する企業となるため、次のような行動計画を策定する。

1. 計画期間：2010年12月1日から2013年3月31日までの2年間4ヶ月

2. 内 容

★ 目標 1

計画期間中に育児休業の取得状況を以下の水準以上にする。

- ① 男性社員・・・・・・計画期間中に1人以上取得すること
- ② 女性社員・・・・・・取得率を年平均80%以上とすること

<対 策>

① 2010年度中

男性も育児休業が取得可能な環境にあることを周知するため、社内イントラ上の人事チームホームページに「育児支援制度」として詳細手続き説明を掲示

② 2011年度～

毎年度初めにリーダー会（所属長の会合）にて「育児休業に関する取扱い」説明を実施するとともに、社内広報誌を通じて、毎年周知・啓発を実施

★ 目標 2

平成25年3月までに小学生未満の子を持つ社員全員の所定外労働時間を1人当たり月間平均7時間以内にする。

<対 策>

① 2010年度中

- ・ 各部署別の所定外労働時間の詳細実態を把握し、原因を分析するとともに、並行して各部署別に業務の棚卸・見直しを実施
- ・ 「定時一斉退社日」（毎月第3週目の水曜日）の継続実施

② 2011年度～

- ・ 平成22年度の結果を基に、再度各部署別に業務の棚卸・見直しを実施し、所定外労働時間の更なる削減を行う
- ・ 「定時一斉退社日」の継続実施とともに設定回数を増やす検討を実施

★ 目 標 3

地域の子どもたちの申し入れに沿い、ハンガー施設等の自社施設見学会の受け入れを実施する。

<対 策>

①2010年度～

受け入れ体制の確立およびハンガー施設見学会を順次実施

社内広報誌を通じて取り組みを社員へ周知

策定：2013年3月